

「第2次おもてなし山形県観光計画～beyond2020～」の概要

資料1-1

位置付け	おもてなし山形県観光条例に基づく観光の振興に関する基本計画	計画期間	令和2年度(2020年度)～6年度(2024年度) <5年間>
基本目標	県民の総参加と全産業の参加による観光振興施策の実施を通して、観光による交流人口の拡大を図り、本県経済を持続的に発展させるとともに、魅力ある活力に満ちた地域社会を築くことによって、『「観光立県山形」の確立』を目指す。	数値目標	観光消費額 2,600億円 ※参考管理指標として、観光者数、外国人受入数、県観光HPアクセス数等も設定
環境の変化	<社会環境の変化> <ul style="list-style-type: none"> ・日本人の人口減少や少子・高齢化の進展 ・グローバル化の更なる進展 ・スマートフォンの普及・通信環境の高度化等、ICT化が世界中で進展 	<観光環境の変化> <ul style="list-style-type: none"> ・国内の外国人旅行者の増加 ・個人旅行化・ニーズの多様化 ・県内の交通インフラの整備（東北中央自動車道の開通・延長、LCC就航等） 	

計画の方向性（観光振興施策）

観光消費拡大に向け、消費単価・訪問者数アップを両輪に、マーケティングに基づき、「山形ならではの」特性・資源を活用して、SDGsの視点から「基本的施策」と「リーディングプロジェクト」を展開する

基本的施策（条例の基本的施策を4本の柱に体系化）

1 魅力的な観光地域づくり

- ①郷土愛やおもてなしの心の醸成と観光客との交流促進
- ②国内外から本県への移動手段の確保・二次交通の充実
- ③観光地や観光・宿泊施設等での安全・安心・快適な環境の整備
- ④観光資源の発掘・磨き上げ、各種ツーリズムの推進

2 効果的な情報発信（情報でのおもてなし）

- ①デジタルマーケティングの推進～増加する個人旅行者に向けて～
- ②各種媒体や人的ネットワークを活用した情報発信の充実

3 観光交流人口の拡大

- ①国内誘客の推進
- ②インバウンド誘客の推進
- ③アウトバウンド・相互交流の促進
- ④MICE誘致・国際イベントを活用した本県への誘導

4 観光産業の成長促進による地域活性化

- ①観光産業を担う人材の育成・確保
- ②観光事業者等の生産性向上
- ③DMOの形成・育成の促進・支援
- ④SDGsの視点を取り入れた観光産業の持続的発展による地域活性化

リーディングプロジェクト（集中・重点・加速化して取り組む施策）

★ 急速なICT化の進展や個人旅行化への対応、また外国人旅行者の取込み、高齢化や人口減少への対応などの本県観光の新たな課題に対して、集中・重点・加速化して取り組む施策をリーディングプロジェクトに設定

I ICT等を活用したインバウンド拡大の加速化（デジタルマーケティングの展開）

- 個人旅行者向け、デジタルプロモーションの展開
（ICTを最大限に活用した「旅マエ・旅ナカ・旅アト」での効果的なアプローチ）
- 旅の情報を提供する観光案内所の機能と予約システムを兼ね備えた観光サイトの構築
（県観光ホームページのリニューアル）
- エリア、タイム、テーマ別の地域資源の発掘・磨き上げ・発信・商品化
- 外国人旅行者を海外・国内・東北から山形へ向ける仕掛けづくり（アクセス向上）
- 欧州・米国・豪州など、対象市場の拡大 ●各国・地域の市場特性を踏まえた誘客対策

II 稼ぐ観光地域づくりによる地域活性化

- 観光産業の担い手となる人材の育成・確保
- DMOの形成や安定運営及び能力向上のための支援
- 大学や民間企業等との協働による観光マーケティングの促進
- 宿泊・滞在型観光の推進 ●ICTの活用などによる宿泊施設・観光施設の生産性向上
- 宿泊・飲食・物販・農業など地域内の業種が連携した地域ならではの付加価値の高いサービスの提供
- DMO等による観光地のブランド化の推進（「世界の蔵王」プロジェクト、出羽百観音プロジェクト等）
- 県民総参加・全産業参加によるおもてなし実践力の向上

III 各種ツーリズムの推進

- 精神文化、歴史、美食・美酒、温泉、山岳・森林、産業、スポーツ、伝統文化、カルチャー（生活文化）等、「山形ならではの」魅力的な観光資源を活用した各種ツーリズムの展開